

# 夢窓幼稚園通信第49号

2021年 9月 30日

私たちが体験した「あきまつり」は、与えられた稔りへの感謝と、大きくなった自分たちを祝福し合うよろこびのおまつりです。

子どもたちは 実に なのしそうでした。

一人ずつ走ったり表現するときに ちょっぴりドキドキすることもあります。力いっぱい いい顔で取り組む素敵な姿が いっぱいでした。

また この秋のまつりは、11月中旬まで続く長い収穫感謝の時期の はじまりのセレモニーでもあります。

「収穫」… さて、私たちは一体何を収穫する(した)のでしょうか。

お米やお芋やリンゴや木の实…など、自然や人の働きによって届けられた恵みはもちろんです。

「誰かが自分のことをいっつも支えてくれていると思える心」とか

「何か役に立つものを作ったり したりするための手の方」とか、

「みんなが うれくなるようなことを考える力」…などを少しだけでも収穫できたら何よりのよろこびで…ですから「感謝」なのかもしれません。

昨日 9月29日に、私たちはミカエル祭を迎えました。

ミカエルは竜を退治することで有名ですが、私たちのこの時代を導いてくれている大天使です。

ミカエル祭では、大天使ミカエルと天使たちを讃えると共に収穫を感謝する時を持つのですが、ミカエルにあやかって困難を乗り越えていく力を授けられることを願って行われるのです。

私たちが届けてもらい手に入れることのできた恵みと力で、秋の深まりの中を一緒に進んでいければと思います。

園長 外光 泰雄